

リバノス

JA石川かほく広報

2019
January
vol.296

1



- ◆年頭にあたって
- ◆「砂丘長いも」初出荷
- ◆高松紋平柿を学ぼう



「ほくの里」

支店フリーダイヤル

内灘支店 ☎ 0120-968-971
津幡支店 ☎ 0120-968-972
津幡東支店 ☎ 0120-968-973
宇ノ気支店 ☎ 0120-968-974
高松支店 ☎ 0120-968-975

「みんなのよい食プロジェクト」を推進しています。



発行/石川かほく農業協同組合
編集/リバノス編集局

石川県河北郡津幡町字清水子329番地
〒929-0326 TEL. 076-288-3331

月刊：毎月10日発行
印刷：宮下印刷株式会社

<http://www.kahoku.is-ja.jp/>



JA石川かほく 検索



年頭にあたって

代表理事組合長

井上 信一



新年あけましておめでとござい
ます。組合員の皆様には夢と希望に
満ちた新年を迎えられたこととお慶
び申し上げます。

平素から組合員、利用者の皆様方
には当JA石川かほくに對し格別の
ご理解、ご利用を賜り厚く御礼を申
上げます。

本年も旧年に増してご高配を賜り
ますようお願い申し上げます。

管内農業をめぐる情勢

生産者の高齢化、離農者の増加等
により農家減少が進む中、産業構造
の変化に伴う、地域ニーズは多様化
しており、JAの農業振興に対する
期待はもとより、地域の活性化への
果たす役割も大きくなっています。

米政策において、二〇一八年産米
より生産数量目標配分や直接支払交
付金が廃止となりました。米の需給
と価格の安定を図るため、本県は

じめ各道府県においても独自に生産
量の目安を定め、地域段階に対する
目安数量が提示されました。

当JA管内の生産数量につきまし
ては、生産者各位のご理解のもと従
来通りの目安を定めました。二〇
一九年産米につきましても、米価水
準は依然不透明な状況にあります。が、
関係機関と一体となり、需要に応じ
た生産量、生産調整の見直しを検討
してまいりますので、ご理解とご協
力賜りますようお願い申し上げます。

稲作においては七月上旬から八月
上旬にかけての猛暑により、日照時
間がかなり多く推移したこと成
熟期が早まりました。また、七月、
八月の猛暑、九月上旬の収穫時期の
台風による豪雨により米の品質、収
量が懸念されましたが、集荷実績は
前年比一〇〇・八%となりました。
一等米比率は前年と同様の九十三・三
%となり、高品質米を確保すること

ができました。本年も気象変動に耐
えうる高品質、良食味、安全安心な
「かほく米」の安定を図るため、「う
まい・きれいかほく米づくり」運動
を継続的に実施し、生産者に喜ばれ
る米づくりを推進して行きたいと思
います。

また、石川県オリジナル品種「ひ
やくまん穀」は約二百十トンを出荷
し、本年もさらに作付面積の拡大を
予定しています。

青果物では、紋平柿は下位等級や
規格外果の六次化により出荷量が増
加する中、初セリでは「キング紋平」
が過去のセリ値を大きく上回る一箱
五万円の値がつくなど、高単価での
出荷が続きました。これも偏に生産
者の努力の結果であり、生産意欲の
向上に結びつくもの期待しています。



紋平柿初セリ

一億円産地の小松菜、ぶどうも、
順調な出荷となりました。また、ぶ
どうについては本年、栽培百周年を
迎えることから、記念事業を支援す

る等、新
たなブラ
ンド力強
化に取り
組んでま
いります。



キャラクターによる「高松ぶどう」PR

農協改革への対応

政府は、農協改革について、二〇
一九年五月までとする「農協改革集
中推進期間」にJAの自己改革の進
捗状況をフォローアップし、取り組
みを促すこととしています。

当JAにおきましても、本年開催
の第二十五回通常総代会では、青年
農業者及び女性農業者の登用など新
たな要件での役員選任、また中央会
監査から公認会計士監査移行に伴う
会計監査人の選任についての議案を
提出いたします。

さらには、改正農協法附則に基づ
き、「准組合員の事業利用規制のあ
り方」について二〇二二年三月まで
の間に「利用状況や改革の実施状況
を調査し、検討を加えて結論を得る」
こととしています。

とりわけ、収支が厳しい農業関連
事業は、准組合員の寄与が大きい信
用事業、共済事業などを含めた総合

事業だからこそ、営農指導員の配置

や大規模な農業施設投資を実現できています。現在、組合員皆様のお宅へ訪問し、JAの自己改革に関する組合員アンケート調査にご協力を賜っていると思います。皆様からいただいた評価が、今後、政府が規制改革推進会議でJAの総合事業や准組合員制度のあり方を左右する極めて重要となります。JAのあり方には組合員の意思が反映されるべきことから、JA自己改革の組合員アンケートを通じて組合員の意思を確認し、政府に対して働きかけを行うこととしています。管内農業を守り、豊かで暮らしやすい地域社会を組合員の皆様と共に築きあげていきたいと思っています。

自己改革の実践

当JAでは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として、組合員皆様の必要とする多様な事業を総合的に提供することによって地域農業の振興や地域づくりに努めております。

「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」の取り組みとして、一昨年から、高密度播種苗の実証試験を行い、昨年は本格的に西部育苗センターで高密度播種苗の取り組みを開始

しました。

コスト・労力の低減や収量確保も実証され、期待する声が多くなってきたことから、本年は東部・北部育苗センターにおいても播種作業を行う予定です。

また、ドローンによる防除についても(株)JAアグリサポートかほくと連携し、試験運用を行いました。無人ヘリ防除の補完機能として、拡充していきたいと思っています。これら、水稻省力技術の検証を重ねながら、今後も省力化・低コスト化対策に取り組んでまいります。

一方、老朽化する米麦共同乾燥調製施設の再編に取り組んでいるところです。二〇二〇年には新たな施設により、安全・安心で高品質米の出荷を目指しています。



ドローンによる散布

「地域の活性化」については昨年、初めて学生ボランティア団体との連

携し「子ども食農体験」の開催、かほく市との連携による中学生の農業体験の実施し、次世代の子供たちに「食」「農」のふれあいがづくり体験を実施しました。

また、支店職員による店舗づくり、支店活性化委員が中心となった一支店一協同活動の取り組みとして、野菜市やふるまい鍋など、地域に喜ば

れる活動とつながり強化に取り組んでいます。いずれにしても、厳しい農業環境が続く中、役職員一丸となって自己改革に取り組んでまいりますので、組合員の皆様には今後ともご理解とご協力を賜りますとともに、組合員、並びにご家族の一層のご多幸を祈念し、年頭の挨拶といたします。

謹んで新年のお喜びを申し上げます

旧年中は組合員・利用者の皆様には格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も相変わらず倍旧のご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

代表理事専務	種本 博	理事	森田 恵子
常務理事	西川 一郎		宮森 徹雄
理事	夷藤 芳夫		安下 正之
	喜多 宗勝		池田 陽一
	酒井美代子		松本 友信
	北口外志美		寺井 浩幸
	西田與喜雄	代表監事	中村 壽
	藤本 英幸	常勤監事	木上 達也
	山崎 将満	監事	角井 昇
	中田 正充		大畑 俊一
	瀧川 嘉孝	員外監事	高橋 勲

ほくほくニユース

色も形もきれいに生長 特産「砂丘長いも」初出荷

石川かほく長いも部会は十一月七日、当JAの北部育苗センターでかほく市特産「砂丘長いも」の出荷を開始しました。

二軒の農家から持ち込まれた四十七ケース（約四百七十七キロ）の砂丘長いもは同部会員によって規格基準を厳選に確認後、検査を実施し、品種ごとに丁寧に箱詰めされました。今年は猛暑や台風などの影響から、収量が減少したものの、色や形など仕上がりは良好。目合わせ会では、さらに安心・安全で新鮮なものを消費者に提供できるよう、二階級の格付けから（秀・優・良・外）の四階級に格付けを増やすよう意見交換が交わされました。

「砂丘長いも」はシャキシャキとした食感と強い粘りが特徴。同部会では、それぞれに粘りの強さが違う「とっくり」「トロフイー」「ネバリスター」の三品種を栽培

しており、十二月中旬までに約二トンの出荷を見込んでいます。



目合わせをする部会員



出荷を確認する部会員と職員

かほく市の秋の味覚大集合 （かほく四季まつり）

十一月十一日、かほく市七塚生涯学習センター駐車場で「かほく四季まつり」かに力二合戦海の幸・山の幸まつり」が開催され、旬の味覚を求める多くの来場者で賑わいました。本年も同市と災害協定を結ぶ長野県駒ヶ根市も参加。

油野和一郎かほく市長のあいさつ後、オープニングセレモニーでは、当JAの宇ノ気支店職員による「チャリティーもちつき」が行われました。油野市長、当JA種本博代表理事専務らが杵をふるい、テンポ良く餅をつきました。キャラクターの「かほく市」にやんたらう、駒ヶ根市「こまかつぱ」、当JA

「ほくの里」も杵をふるい、会場を盛り上げました。つきたての餅は五臼分準備され、同支店職員が丸めてきな粉をまぶし、振る舞われま



もちつきに挑戦する「ほくの里」

した。

隣接するテントでは、農産物即売会が行われ、同市特産のさつまいも「かほつくり」、高松紋平柿、「砂丘長いも」が並びました。紋平柿の即売では、一袋五百円の詰め放題を実施したところ約一・五トンの柿があつという間に完売。二百五十人がはち切れんばかりの袋を抱え、満足な顔でテントを後にしました。

いずれの特産品も生産者と来場者との会話がはずむ中、早々に売り切れる盛況ぶりでした。



紋平柿を袋いっぱい詰めこむ来場者

高松紋平柿を学ぼう

高松紋平柿生産組合は、十一月九日、かほく市内の六校の小学三年生約二百九十名を対象に同市夏栗の当JA高松集出荷場で特産高松紋平柿について学びました。

同組合の岩野伸一組合長が挨拶し、当JA職員の櫻井和幸主任から紋平柿の由来や出荷・選果作業、施設の装置について説明があり、児童たちは真剣に聞き入っていました。児童からは「脱渋装置の中にどれくらい入っているのですか」「一本の柿の木から何個取れますか」などの質問があり、岩野組合長と櫻井主任が丁寧に答えていました。

雨が降った為、圃場での柿の収穫体験は見送られました。アルコールを使った脱渋を体験。同組合員の指導のもと、紋平柿を発砲スチロールの箱にきれいに並べ、箱いっぱいになると、その上に新聞紙を置き、脱渋用アルコールを含ませた脱脂綿を乗せ、フタを被せ



脱渋体験で紋平柿を並べる児童

ガムテープで密封しました。柿の渋が抜けるまでに約十日間かかる為、それぞれの学校に持ち帰り甘くて美味しい紋平柿が食べられる日を心待ちにします。

同組合は食農教育と地産地消の一環として、毎年、収穫・脱渋体験を実施しており、児童がかほく市特産高松紋平柿に触れ合い、学ぶ機会を提供しています。

大豆の脱穀作業を体験

かほく市立大海小学校三年生十人は、十一月九日、同市瀬戸町の高崎武義さんの納屋で大豆「エンレイ」の脱穀作業を体験しました。脱穀した大豆は、児童が地元で伝わる「大海みそ」造りをするため、五月に植え収穫したもの。

高崎武義さんと高崎政勝さんから作業内容の説明を受けた後、脱穀作業として刈り取った大豆の茎の束を順番に高崎さんに手渡して

いきましました。脱穀機によつてさやかに綺麗な豆



脱穀された大豆の粒を確認する児童

がはじき出されていくのを見て児童らは興味津々。収穫した十キロの大豆はあつという間に綺麗な粒となつて脱穀されていきました。今後、十二月に選別作業を行い、来年一月には美味しいみそ造りをする予定です。

秋の味覚を味わう 収穫感謝祭

津幡町立刈安小学校で十一月十日、収穫感謝祭が開催されました。児童や寺尾保育園児、地域ボランティアの人たち約百二十名が参加。児童は九月に稲刈り体験で収穫した「カグラモチ」を使い、餅つきをしたほか、収穫体験発表や生産者たちへの感謝の気持ちを込めた太鼓演奏を披露しました。また、地元野菜をふんだんに使った保護者らの手作りによる「め



餅つきをする児童

った汁、「ちらし寿司」も好評で、みんなで楽しく秋の味覚を味わいました。

私たちの地域を活性化

1支店1協同活動

当JAの津幡東支店は十一月一日、支店活性化委員や管内理事が中心となり、支店周辺の美化運動と日頃の感謝を込めて、ふるまい鍋を行いました。

住みよい地域づくりを目的とした美化運動では、四班に分かれ委員らと職員の親交を深めながら協力し合い道端に落ちている多くのゴミを拾い集めました。

ふるまい鍋では、



ふるまい鍋を作る支店活性化委員

同支店前でJAブリーンかほく産直委員会が栽培した野菜を使った「いも鍋」約三百食と新米「ひやくまん穀」のおにぎり三百個を用意。会場につめ掛けた来店者や支店近くの園児たちは、いも鍋やおにぎりを味わい、一同に「美味しかった」と喜び、冷えた体を温めました。

元気内灘とれたて市大盛況

1支店1協同活動

河北郡市農業振興協議会内灘町支部と当JA内灘支店職員は十一月十一日、内灘町役場庁舎内において「元気内灘とれたて市」を開催しました。地元内灘町の生産者が栽培した採れたて野菜、約三十種類が並び、開店前から多くの来場者が、旬の地元野菜を買い求めようとつめ掛けました。

開店と同時に白菜・大根・小松



賑わいをみせる元気内灘とれたて市

菜など瞬く間に売り切れになり、来場客で活気に溢れ、賑わいをみせていました。

次回は十二月九日に、「ふるまい鍋」も開催する予定です。

土と向きあい手作り陶芸教室

1支店1協同活動

津幡支店は十一月十八日、本店で今年が四回目の陶芸教室を開催し、管内の家族連れなど二十八名が参加しました。講師には、陶芸に精通している地元の加茂一司さんをはじめ、西尾嘉二夫さん、松本義之さんの三名。

講師から手回しの「ろくろ」の使い方の説明を聞き、参加者は作りたい茶碗やお皿などに取りかか

りました。



講師に教わる参加者

途中、講師の手を借り、「竹べら」などできれいに形成。土と触れ合いながら、オリジナルの陶芸作品を作り上げ、参加者は楽しみました。この後、講師らが乾燥・素焼き・色付け・本焼き作業を行い、十二月下旬頃に出来上がり、同支店に展示される予定です。

歌と豪華衣装で魅了

共済友の会「杉良太郎・伍代夏子夫婦詩コンサート2018」

当JAは十一月二十七日、加賀市文化会館で平成三十年度JA石川かほく共済友の会を開催し、七十二名の皆様にご参加いただきました。

今年度は、杉良太郎さん、伍代夏子さん夫婦のコンサートが開催され、代表曲から最新曲まで二人で全十八曲を披露。夫婦ならではの息の合ったトークや歌、杉良太郎さんの早着替えなどで参加者を



魅了しました。参加者は華やかな歌声と笑いで約二時間のショーを楽しみました。

信用・共済 ロールプレイコンクール

十一月九日、「平成三十年度JA共済スマイルサポーター・ロールプレイコンクール」が金沢市アートホールで開催され、県内の十七JAが出場しました。

出場者は八分間の制限時間内に、それぞれの個性を出し、お客様のニーズにあった資料を用意して、自動車共済推進の話を競い合いました。

当JAからは、津幡支店の田丸梓織さんが出場し、お客様の心に寄り添った親しみやすいトークと共感力で素晴らしい演技をみせ特別賞を受賞しました。

また、十一月二十七日には石川県農業会館で「平成三十年度担い手推進担当ロールプレイング大会」が開催されました。

県内九JAが出場し、「担い手農家への所得増大に向けた提案」をテーマに競いました。当JAからは、TAC（営農経済渉外）の松井博暉さんと融資担当役の津幡支店の上野真さん、お客様として営農企画課の松橋啓祐さんの三名で出場し、水稲の省力化に向けた融資プランを提案。栽培から出



松井さん（右）上野さん（中央）松橋さん（左）



ロープレを行う田丸さん

荷までの不安の声に、一つ一つ丁寧に説明し、安心から信頼へと繋がる説明を行いました。

女性大学卒業生 女性部 と交流

JA中野市

当JAの女性大学一〜五期の卒業生は十一月一日、長野県のJA中野市にて視察研修を行いました。四十八名が参加。

視察先のJA中野市農産物産館「オランチエ」では、多くの来店客で賑わう中、農産物の種類の豊富さや低価格での販売に驚くとともに自身ら両手いっぱい買い物をぶら下げ喜んでいました。農事組合法人あさひ培養センターでは、えのき茸の栽培方法・出荷工程を見学しました。

JAアップルシティなかの信州中野いきいき館では、生産量全国一位のえのき茸など菌茸を食材とした昼食を

食べた後、JA中野市女性部との交流を行いました。

同女性部部長の石川喜久子氏より女性部活動について説明後、一折



小物入れを作る参加者



りんごを摘み取る参加者

り紙」使った小物入れ作りに挑戦。折り方の質問や指導が行われるなど物作りをとおして、親交を深めました。

最終行程の「小沢農園」でのリノゴ狩りでは、甘くてシャキシャキとした食感の「シナノスイート」を収穫。日頃体験することない収穫を楽しみました。

現在、女性大学卒業生は百五十八名。支店毎に自らの企画にて、活動を展開しています。

活動を続ける中、他支店卒業生との交流や、合同の活動の場を希望する声が多く、今回初めて実現しました。

ほのぼの だより

一人ひとりが主人公

「笑顔ほくほく秋祭り2018」が十月二十七日に開催されました。助け合い組織につこり百彩会は、今年も各チームの作品を展示。会員さんは、色々アイデアを出し合いい楽しみながら、水引きや絵はが

きなど工夫を凝らした個性溢れる素晴らしい作品となりました。当日の展示コーナーには大勢の来場客が立ち寄って下さり、作品を見て和んでもらうための展示スペースでは、じっくりと観賞される人やコーナー内に設けられた休憩スペースで椅子に座り展示作品について会話を楽しむ人が見つけられました。

こうした活動を通して、当JA職員も皆さんの主体的な活動が、元気に生活できる源なのだと感じ、これからも百彩会活動のサポートに務めていきたいです。

につこり百彩会事務局

岩本 大輝



結婚して52年。私たち夫婦は、グラウンドゴルフを楽しみながら毎日過ごしています。グラウンドゴルフとの出会いは10年前、妻が友人から誘われたことがきっかけでした。ゴルフをしていた私でしたが、夫婦で共通のスポーツで楽しめたらと、二年前に妻に誘われ夫婦で始めました。

今では年間10回、夫婦で大会に出場し、お互い競争しながらグラウンドゴルフに励んでいます。

勝負に負けた方は罰として晩ご飯の支度をやる、私たちならではのルールがあり、またそれも、張り合いとなって夫婦円満の秘訣なのかなと思っています。



仲良し夫婦

内灘町 南 守雄さん・みよ子さん

かほく じい〜ん



津幡町 岩崎宮農組合



平成11年に岩崎地区や近隣地域の耕作放棄地をなくす為、農家27名で「岩崎宮農組合」を設立しました。現在は約10ヘクタールでコシヒカリのほか2品種を栽培して

います。コシヒカリのほとんどを管内の学校給食向けに減農薬・有機質肥料施用などで栽培を行い「学校給食米」として出荷しています。

設立当初に『楽しくふれあい、農業の発展をめざそう』をスローガンとして掲げ、現在もそのスローガンを守り宮農組合を進めています。

今後もさらに安全安心なおいしいお米を作っていきたいと思えます。



ご飯をおいしく 食事を楽しく

「キッチン晴人」のオーナーシェフ 永井 智一 氏

根菜とミツバのおかゆ



ポイント

炊き上がりまでの時間の目安は20~30分

材 料 (4人分)

米……………	1/2カップ	カブ……………	1個
水…3と1/2カップ(7倍量)		(1/8に切り下ゆでする)	
ごま油…………	大さじ1/2	ミツバ…………	1/2束
ダイコン…………	1/8本	塩……………	適宜
(短冊に切り下ゆでする)			

作り方

- ① 米をとき、ざるにあげ20分置いた後、ごま油を絡めておく。
- ② 手鍋に水と①を入れ中火にかけ沸騰したら弱火にしてコトコト炊いていく。
- ③ 炊いていく途中で、ダイコンとカブを入れ塩で味を調え、刻んだミツバを散らして出来上がり。

切り干し大根とミツバのおひたし



材 料 (4人分)

切り干し大根…………	30g	だし汁
ミツバ……………	1束	かつおだし
かつお節……………	適宜	……………
		……………
		……………
		……………
		……………
		……………
		……………

作り方

- ① 切り干し大根を水で戻し、固く絞っておく。ミツバは1cm幅に切る。
- ② だし汁を沸かし、切り干し大根を入れて弱火で10分煮て冷ましておく。
- ③ ボウルに切り干し大根とミツバを入れて混ぜ合わせ、器に盛りだし汁を適量張り、かつお節を散らして出来上がり。

料理レシピ 募集

ご家庭で簡単にできる、地物・旬の食材を使ったレシピを募集しています。
投稿くださったレシピをリバノスやホームページで紹介したいと思いますので、皆様のご自慢料理を送ってくださいね！
また、いろいろな食材の保存方法をご存知の方も、併せて募集しています。
たくさんのレシピをお待ちしております。

募集方法 (封書でお送りください。)

1. 住所、氏名、電話番号
2. 料理名または食材名
3. レシピまたは保存方法 (簡単にお書きください。)
4. 一言コメント ※1~5の事項を必ずご記入ください。
5. 写真

宛先

〒929-0326
河北郡津幡町字清水子329
JA石川かほくりバノス編集部

※レシピが多い場合は、リバノス編集部で選定させていただきます。

平成三十年度 水稻生育概況 (生育観測田)

一、五月～七月にかけての生育概況

草丈は分げつ初期から中期にかけて前年・平年並に経過しました。茎数は、早生で前年よりやや少ないものの平年並に経過し、中生では、前年・平年よりやや少ない並に経過しました。その後も最高分げつ期にかけても同様の傾向で経過しました。葉色は、早生、中生とも平年並に経過しました。

●分げつ期

分げつ初期（五月上旬～中旬）
草丈は早生、中生とも平年並、茎数及び葉数の展開は平年並に経過しました。

分げつ中期（五月下旬～六月上旬）
草丈は早生、中生とも平年並に経過し、茎数は早生、中生ともやや少なく経過しました。

分げつ終期（六月中旬～最高分げつ期）
草丈は早生、中生とも前年より長く平年並、茎数はやや少なく経過しました。最高分げつ期はいずれも六月二十八日頃となり平年より五日程度遅くなりました。

●最高分げつ期～幼穂形成期
草丈は早生で平年並、中生で平年並～やや長く、茎数は早生、中生とも平年並～やや少なく経過しました。葉色はいずれも平年並の傾向でした。

●穂ばらみ期～出穂期
草丈は早生、中生とも平年並、茎数は早生で平年並、中生で平年より少なく経過しました。

●田植

田植時期は、始期が四月二十八日、盛期が五月三日となり、前年とほぼ同時期となりました。

●活着状況
五月三～四日頃の強風・低温の影響で植え傷みや刃先の枯れが見られました。その後気温が高く推移し、活着はおおむね良好でした。



二、出穂期

○早生：七月十五～十八日で平年並～二日程度早まりました。

○中生：平地部山間部とも差はなく、七月二十五～二十八日となり、平年比べて五日程度早まりました。

三、成熟期

七月～八月中旬の期間で気温がかなり高く推移したことにより、平年より早まりました。

早生 津幡町七黒：八月十七日
(平年比 七日前)
かほく市狩鹿野：八月十七日
(平年比 五日前)
中生 かほく市森：八月二十八日
(平年比 七日前)
津幡町下河合：八月二十八日
(平年比 十一日前)

四、作況指数

(北陸農政局 平成三〇年十月三十一日公表 十月十五日現在)

石川県全体：一〇〇
加賀地区：一〇〇
能登地区：一〇〇

五、病害虫の発生状況

●苗立枯病（カビ、褐条病、粉枯細菌病など）やムシ苗は微発生でした。いもち病の発生は見られませんでしたが、紋枯病は葉色の濃いほ場で散見されましたが、例年より小発生でした。稲こづじ病は例年より発生はかかなり少なくなりました。

●河北潟沿岸部を中心に、イナゴの発生が確認されました。

平成30年度米集荷・検査状況 (10月31日現在) 【60kg/俵】

品 種	等 級	検査数量	比 率
コシヒカリ	1等米	49,229	92.4%
	2等米	3,806	7.2%
	3等米	233	0.4%
	集 計	53,268	100.0%
ゆめみづほ	1等米	30,794	90.6%
	2等米	3,068	9.0%
	3等米	126	0.4%
	集 計	33,987	100.0%
ひやくまん穀	1等米	3,183	98.8%
	2等米	38	1.2%
	集 計	3,221	100.0%
	ほほほの穂	1等米	1,294
2等米		1,016	44.0%
集 計		2,310	100.0%
ミルククイーン		1等米	82
	2等米	95	53.5%
	3等米	1	0.3%
	集 計	178	100.0%
あきだわら	1等米	671	69.4%
	2等米	297	30.6%
	集 計	968	100.0%
	その他うるち	1等米	152
2等米		288	65.5%
集 計		440	100.0%
五百万石		1等米	586
	2等米	159	21.4%
	集 計	745	100.0%
	石川糯24号	1等米	226
2等米		2	0.6%
3等米		13	5.2%
集 計		240	100.0%
白山もち	1等米	145	51.0%
	2等米	105	36.7%
	3等米	35	12.3%
	集 計	285	100.0%
カグラモチ	1等米	87	57.4%
	2等米	65	42.6%
	集 計	152	100.0%
	新大正糯	1等米	135
集 計		135	100.0%
総 計		95,925	
1等合計		86,582	90.3%

全力で支えます! 組合員のためのJA自己改革実践中!!

Vol.6

今回は、当JAのイメージキャラクター『ほくの里』のPR活動について紹介をします。

『ほくの里』は、当JA設立20周年を記念して、応募の中から選ばれ、地域農業の活性化、地元特産農産物の開発やPR、食育教育、当JAのイベントや地域イベントの場に参加し、次世代の若者たちとの交流等により理解される農産物・農業を目指した活動やJA石川かほくのPR活動しています。

●農産物PR活動…米、ぶどう、スイカなどの地元農産物の消費者へのPRをしています。



高松ぶどう初出荷PR



大崎すいか初出荷PR



新米おにぎり配布

●JA石川かほくのPR活動…展示会や地域イベントへの参加やデザイン画を6次産業化商品ラベル・チラシ・ポスター・SNSなどで活用しています。

【イベントへの参加】



津幡ちびっこ相撲大会



ごはんフェスタ (金沢)



まこもやり投げ大会



かほく四季まつり



笠野まつり



浅ノ川病院祭 (金沢)



まこも焼酎



コシヒカリ精米

●食農教育…子供たちとのふれあいを通じ、「食」「農」の体験学習への参加



地域のクリスマス会



地元学校給食試食会



『ほくの里』は、地域活性化のために応援します!





さあ作ろう！

家庭菜園

森田 恵子

平成二十九年は家庭菜園、平成三十年は、「直売にチャレンジ」のテーマです。すめてきましたが、今年は徒然草的に気にならなことを、いろいろと述べてゆきたいと思います。

今年もおいしい野菜を作りましょう。一月は例年どおり菜園計画をつくることから始めましょう。昨年を参考にして計画を立てます。昨年は全国的な規模の気象災害に見舞われ、計画栽培が難しい年でした。皆様の直売対応はいかがでしたか。私も直売会員になりました。と言いつつも、野菜の出荷は出来ませんでした。今年こそは野菜の直売に挑戦してみたいと考えています。皆様の参考になるように、新しい品種の特性や栽培の要点やコツなどを紹介していきたいと思えます。

畑の区割り・作付け計画

土壌病害を防ぐため、同じ科の野菜を連作しないよう前年、前前年の

作付け表を見ながら今年の作付けを考えています。

まず、じゃがいもに疫病や軟腐病が多く発症するようになったので、今年は作付ける畑を変えることにします。次いで、アブラナ科の野菜は春作と秋作で二から三回植え付けたので、今年はきゅうり、とまと、なす、ねぎを作付けることにします。他にレタスやほうれんそう、豆類を栽培して、アブラナ科の連作を避けることにします。

ところで、ねぎとキャベツはとても相性が悪いのです。ねぎの後にキャベツを植えてもねぎに負けてしまい、満足な収穫を得ることができません。ねぎの畝の隣にキャベツを植えても、出来栄は良くありませんので注意しましょう。

スイートコーンも作りたいのですが、アワノメイガと鳥獣害でまともに収穫できないので栽培していませんが、スイートコーンはイネ科なのでローテーション作物としてはつてつけです。孫が大好きなので今年

は取り入れてみようかな。

畑の利用計画も重要ですが、併せて販売計画も立てるとなると、時には頭の痛くなるようなバズルにもなつて、私にはこの一年の計画作りが楽しいのです。

たまねぎ

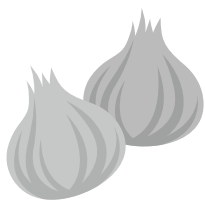
我が家では貯蔵性の高いネオアースやもみじ二号などの中晩生品種を中心に栽培しています。直売を考えたとき、長く販売することも重要です。ということで、今年は極早生品種も栽培しています。早く結球体制に持ち込み、まず葉たまねぎとして出荷し、その後、玉の肥大にに応じてサラダたまねぎとして出荷する予定です。葉たまねぎは、まだまだマイナーな品目ですが、すぎ焼きや卵とじにするとおいしいので、もっとたくさん食べていただきたいですね。

「たまねぎは、雪があっても中旬の追肥は需要だから、忘れないで追肥してね」とある指導員が言っていたので、雪解けと同時に流れてしまつたのではと思いましたが、雪が残っていても日の本二号を施用しています。あまり地力のない我が家の畑では必要な追肥と思います。

ところで、たまねぎが肥大するきっかけとどうか、肥大する条件を知つ

ていますか？ 球の肥大は、日長時間と温度が深くかかわっています。中晩生品種は日長に反応し十二時間で、気温が十五℃以上にならないとつてきません。極早生品種は温度に敏感で十℃以上で、十一時間の日長で玉が太ります。というわけで、より早く出荷をするために、極早生品種には雪解け後かなり手間ですが、透明マルチを設置してみようと思います。透明マルチの良い点は、地温を温める効果が高いことです。しかし、草が生育するという欠点があります。草が一面に生えてしまうと地温は上がらず、肥料は吸われ、たまねぎは肥料不足という悪循環に陥ります。マルチを張る前にしっかりと除草し、その後も除草は忘れないように注意します。除草が大変という場合は、黒マルチもありますが、透明マルチより地温は低めなので、透明マルチより遅くなります。

本年もよろしく願っています。



縁起物！マンリヨウ、センリヨウの種まき繁殖

田中 和人

今月号より二〇一九年の始まりです。昨年は豪雪、猛暑、台風等々大変な年でしたが、今年も人にも植物にも穏やかな年であってほしいと願っております。

さて、昔からお正月にはマンリヨウ、ヒヤクリヨウ（カラタチバナ）、ジユウリヨウ（ヤブコウジ）などのヤブコウジ類が寄せ植えや鉢物として飾られてきました。由来はともかく豪華な名前ですね。これらは常緑で、実の色が美しくかつ永く変色しないこと、姿が可憐なことなどから慶事を祝う縁起物として用いられるようになったそうです。

また、マンリヨウに対してセンリヨウ（センリヨウ科）も、漢名で「竹節草」とも書き、その名の通り枝の伸びがよいのと、葉より



図1 マンリヨウ センリヨウ ヒヤクリヨウ
(○内：実 マンリヨウなどヤブコウジ類は、葉の下に実がつく)

も上に実が付き美しく縁起物として生け花などに使われています(図1)。

お正月のあとに、これらの植物の種をまいてみませんか。

◆マンリヨウなどの種のまき方

- 一・まき時と果実の調整(図2)
まき時は、果実が色付き熟したらいつでもできます。熟しすぎて果実の色が深く濃い赤色になる前の方が発芽しやすいと思います。



図2 果実をつぶして種を取り出す

- ・果肉のある種は、多少なりとも果肉や果皮に発芽を抑える物質を含む傾向があり、採取した果実はすぐに果肉をつぶし、水洗いをしてまきます。

二・種まきの用土とまき方

ヤブコウジやセンリヨウは日陰に成長する樹木で、直射日光や乾燥を嫌います。適度に水分を保つことができるとともに、排水がよく酸素を含む土壌が最適です。一例ですが赤玉土、腐葉土、ピートモスあるいはパーミ

キュライトを等量に混合した用土などが適しているといえます。

育苗バスケットの底にごろ石を敷き、用土を入れます。種は三〜五センチ間隔にまきます。覆土は五〜十ミリでよく、覆土の上に軽く

ミズゴケやもみ殻などを敷いて霜や乾燥を防ぎます(図3)。

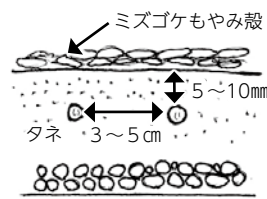


図3 種まきの位置

三・その後の管理

晩秋から早春にまいた種は、初夏にはほとんど発芽すると思います。一年目は十センチほどの苗高になりますが、苗箱(鉢)のまま管理し、二年目の春から鉢上げを行います。成長のよいものは三年目で開花・結実が見られます。

繰り返ししますが、種まき後は用土の乾燥に注意し、春の日差しが強くなるころには庭木の下や明るい日陰の涼しい所に置いて下さい。

◆今月の園芸作業

◆ポットマムの花後の管理

花後本葉を残して切り戻し、プランターや二回りほど大きな鉢に用い、腐葉土などを含んだ用土に

植え替えします。肥料は必要ありません。霜に当たらないように軒下などで管理します。気温の低下とともに葉が萎れ始めたら、再度茎を地際近くで切り戻します。土の表面にもみ殻などを敷いて春まで

寒さや霜害を防ぎます。雪解け後即効性の肥料を与えると、春には根元から新しい芽が生えてきますので、これをさし芽して苗を作ります。

◆クリスマスローズの鉢植え(図4)

先日「そくさいかん」でクリスマスローズの苗を見つけました。寒さに強い本種は、冬の人気の一つですね。生育、根の張りもよいので購入苗に対して二回りほど大きい深鉢に植えつけます。クリスマスローズ専用用土を使いますが、自分で作る場合は、赤玉土・鹿沼土・ピートモスを四・三・三の割合で混合するなど水はけのよい用土づくりをします。植え付け後の水やりは過湿を避け、土の表面が乾いてから行います。春まで日当たりのよい場所で霜や寒風に当たらないよう注意し、たくさんの花を咲かせてください。



図4 植え替え3週間目
新葉の出現(○内)
※植え替え日11/4

お便り OTAYORI コーナー

ご愛読ありがとうございます。皆さんが家庭菜園や花づくりなどに頑張っている様子が編集局にお便りで届きます。今後もお役に立てるような情報を発信していきたいと思えます。

✉ クロスワードクイズ頭の体操に初めて応募します。毎回、楽しみにしています。

津幡町 松田 直子

「クロスワードクイズ頭の体操」は、好評で多くの方からハガキが寄せられます。これからもどんどんチャレンジして応募してくださいね。

✉ 小学校の稲刈りの記事がよかったです。農家の子供でも、農家でない子供でも、はじめての体験だと思いました。

かほく市 中盛 信雄

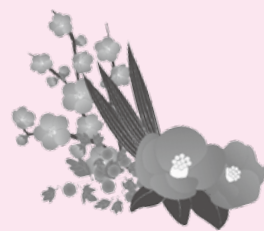
ご愛読ありがとうございます。小学生が食農教育の一環として、農業に接するいい体験だと思えます。機械化が進むなか、昔ながらのやり方で田植え、稲刈りは、農家の大変さや収穫の喜びを直に経験し、「食」の大切さを学んでいると思えます。

✉ 暑い夏がすぎるとすぐに朝晩寒くなりましたね。スタッフの皆様も御身体を大切になさってくださいね。

かほく市 根布 節子

いよいよ冬の足音が近づいてきました。インフルエンザの流行る季節ですので、皆さんも予防対策してくださいね。

✉ 今は農業をしていませんが、プランターでナス2本、きゅうり2本、トマト2本などで夏は楽しみました。リバナスは毎号楽しみです。 かほく市 沢野 婦美子



その他、たくさんのお便りが届いています。紙面の都合上、全員の方のお便りを載せることができない場合もございます。ご了承下さい。実名で載せさせていただきますいておりますが、匿名希望の方は明記してください。お便りをお待ちしております。

＜お便りのあて先＞
〒929-0326 河北郡津幡町字清水329
JA石川かほくりバナス編集局

川柳

石本よし一選

題「朝」

おはようで我が家の朝が回りだす

洞庭 泰(川尻)

評 風雨をいとわず、自然の中で暮しを立てる農家では、どちらかと言えば朝が早い。特に田植えなどの農作業では、早朝の四時頃に田んぼに立つ農家もいる。そんな朝の挨拶は、「お早ようござん」で、お互いの会話が始まる。おはようで一日が回りだし、ありがとこの感謝で一日を終えることができれば、すばらしい農村の風景とも言えよう。
始まりは、おはようの挨拶から回り始める。

佳作

朝一番先祖敬う正信偈

田村 悦子(大根布)

朝夕に家族の安全祈る母

井田 宏子(井野河内)

差し向い鮭一切れを分ける朝

兼保 直美(瀧端)

朝市のなまりにゆるむ我が財布

福田 貞子(岩崎)

毎日が日曜になり朝寝坊

竹田 盈子(緑が丘)

入選

朝市で話が弾む地域の輪

押切 幸子(川尻)

朝市の賑合う声に止まる足

河合 雅子(津幡)

朝市に客呼ぶ海女の口達者

前山優美子(太田)

麻雀が趣味でいつもの朝帰り

藤沢 充子(瓜生)

朝からのご機嫌悪く困ります

加藤 初美(牛首)

デイサービス朝のお迎え有難い

山下アヤ子(牛首)

朝シャンは朝メシよりも大事とか

永多 澄枝(牛首)

冬の朝家計にひびく暖房費

東 康子(能瀬)

愛犬と朝日をあびて田んぼ道

山崎 洋子(横浜)

朝市の立つごと出掛け友が出来

加藤 秀子(五反田)

朝刊の記事はお悔やみ真先に

二羽トモ子(南中条)

朝食はパンとご飯の二世代に

松田 妙子(浅田)

朝日輝り日焼けクリーム塗り直し

瀬戸 恵子(二ツ屋)

朝焼けに野菜の育ち嬉しくて

岡井 昭江(二ツ屋)

もう少し床が恋しい朝ぼらけ

松村小夜子(岩崎)

朝のもずもずと冬と告げている

村田 由枝(竹橋)

もう朝が静かに母の正信偈

古林 照子(長柄町)

かえらぬ日忍んで今朝も一人膳

吉本 成子(気屋)

三月号題 「夕」三句マテ

● 締切り 一月十日必着

四月号題 「食」三句マテ

● 締切り 一月十日必着

▲ 投句先

〒929-0326 河北郡津幡町字香提寺ワ三

石本よし一宛

※投句の際 住所・氏名をお書き忘れのないようお願い致します。

スマイルスクール

こんにゃくを作ってみよう！

6期生

スマイルスクール6期生25人は、11月12日、津幡町条南コミュニティプラザでこんにゃく作りに挑戦しました。

こんにゃく芋は5月の講座でプランターに植え、各自が自宅で管理し育てたものを使用。石川県県央農林総合事務所の池端郁美さんと松野由莉さんから実演を交えながら説明を聞いた後、受講生はお互いに作業手順を確認し合いながら、こんにゃく作りを進めていきました。

途中、試食として講師が作ってくれた手作りのこんにゃくを冷蔵保存したものと、凍結により食材の食感が楽しめる凍みこんにゃくの二種類を食べ比べ、受講生は保存方法の仕方によって食材の変化の違いを知り、市販のものとは違う自然の味わいを感じていました。こんにゃくが仕上がると、満足な表情をみせ、今晚の夕食を楽しみにする受講生や凍みこんにゃくの作り方の質問をするなど、こんにゃく作りへの関心が高まったようでした。



こんにゃく作りに挑戦する受講生

自分の身を守るため、防災意識を高めよう！

7期生

スマイルスクール7期生28人は、11月14日、当JA本店で開かれた第9回講座「防災学習会」に出席し、石川県防災活動アドバイザーの松井喜憲さんから、地域で想定される自然災害の防災対策について学びました。

過去にもたらした地震・水害・台風被害のなかで、松井さんが災害ボランティア活動として能登半島地震や浅ノ川水害など実際に被災地で経験された話など聞いた受講生は、災害の恐ろしさ、災害後の暮らしの大変さを実感。地域で災害が起きた時、ハザードマップで自分の地区の被害想定を確認する重要性や、速やかに避難するための注意点やアドバイスを教わり、防災意識を高めました。

受講生からは、「高齢者・障害者を避難させる場合、避難所の受け入れ体制はとれているのか」、「ハザードマップはどうやって作られたものか」など、いつ起きるか分からない災害に備えて地域の防災情報を取り入れようと次々と質問があがりました。



講師の話当真に聞き入る受講生

新着情報

ほのぼののデイサービス

津幡町「石川県森林公園」で 秋の紅葉ドライブ

ほのぼののデイサービスでは自立支援の取り組みとして、秋を感じる紅葉ドライブを「石川県森林公園」で利用者に楽しんで頂きました。紅葉も見頃となって紅葉やイチョウの木々が赤や黄色に色付いていました。利用者は間近に紅葉を楽しもうと自ら歩き、色鮮やかな秋の景色を満喫。また、ティータイムでは会話を楽しむなど、和やかな雰囲気の中癒やされました。

当施設職員も利用者と一緒に秋の紅葉を散策し、澄んだ空気の中心身のリフレッシュを実感していました。

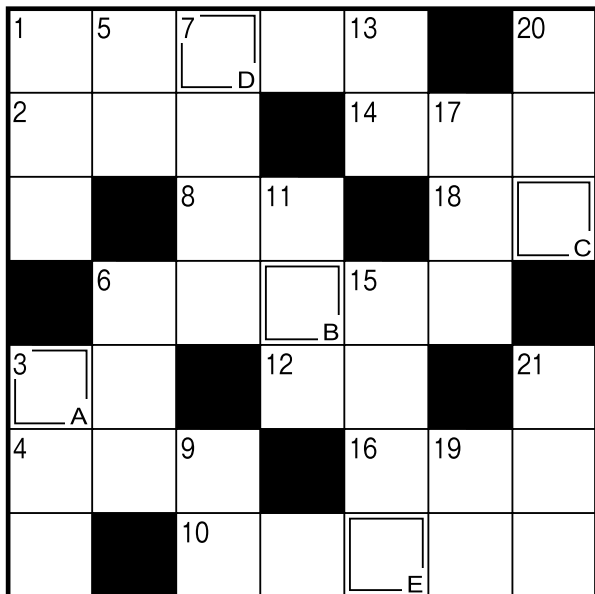
ほのぼののデイサービス 施設長 林 茂則



紅葉を楽しむ職員と利用者

クロスワードクイズ 頭の体操

Q 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



ヨコのカギ

- 輪郭を描いた紙に目や鼻などのパーツを並べて遊びます
- 1、2、3や一、二、三など
- 『春の海』や『六段の調(しらべ)』を奏でる楽器
- 小銭入れに入れる物
- 鹿児島産焼酎の原料の多くはこれ
- 空からちらちらと降ってきます
- 山田太郎さんだったらT・Y
- 怒ると頭に生えるかも
- 車窓を流れていくもの
- 剣道で使う武器
- ご来光を見るために登る人もいます

タテのカギ

- 障子よりは破れにくそうな建具
- 彼は——東西の文学に詳しい
- 素振り中のバットが切るもの
- テンサイなどから作られる調味料
- 漫談家が巧みな——で場を沸かせた
- カキやタイラギ、トコブシなど
- 調査。——手当
- 寒い日には氷が張ることも
- 平成31年の十二支は
- 闘鶏に使われる鳥。漢字で書くと軍鶏
- 農具や収穫物を入れておく建物
- 壁の——から風が吹き込んだ
- 旅客機に乗ってためる人もいます

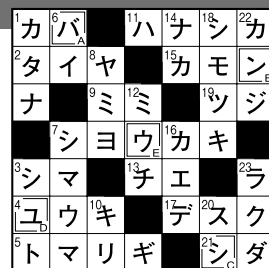
PRESENT

- ◆応募方法 ハガキに①答え②住所・氏名・電話番号③本誌に対するご意見・身近な役立つ情報などをご記入の上、下記あて先までご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に1,000円分の商品券をプレゼントします。
- ◆あて先 〒929-0326 津幡町字清水チ329 JA石川かほく「リバノス編集部」
- ◆応募締切 1月10日(消印有効) ◆当選発表 リバノス3月号

11月号クイズ当選者

〈答え〉バンシュウ

- 多田 史代さん
- 川幡 節子さん
- 金谷 清一さん
- 宮谷 充夫さん
- 山本 英子さん



第8回 理事会だより

平成30年11月28日(水)開催

●審議事項

- 第1号議案 信用手数料徴収規程の一部改正について
- 第2号議案 新設米麦共同乾燥調製施設の概要並びに乾燥方式及び調整池について
- 第3号議案 常勤理事の他の団体理事等への就任承諾について

●報告・検討事項

- (1) 平成30年10月末事業概況について
- (2) 内部監査品質評価結果の報告について
- (3) 下期賞与支給について
- (4) 半期情報の開示(ディスクロージャー)について
- (5) 平成30年産大豆仮渡金について
- (6) 平成30年産米集荷実績について
- (7) 年末年始業務予定について
- (8) その他

支店活性化委員から、こんにちは!

人と人とのふれ合いの中で

津幡支店活性化委員の加茂英子です。
私は支店活性化委員活動の陶芸教室に毎年参加し、楽しい一時を過ごさせていただいております。また、女性大学マイルスクールの5期を卒業し、お世話になった皆様とのふれ合いを通し、知識と心の栄養を与えていただきました。

人は1人では生きられず、人と人との出会い、関わり、支え合いの中で生き、成長していけると思います。

私は、支店活性化委員の皆様、津幡支店職員の皆様と共に協力しながら、地域の方々に働きかけ、三者一体となって地域活性化に取り組んでいきたいと思っています。



津幡支店活性化委員 加茂 英子

冬の食中毒

食中毒は夏の病気と思われがちですが、実は冬にも多く発生しています。食中毒を引き起こすウイルスの一つにノロウイルスがあります。これが冬になると活発化するからです。

ノロウイルスに感染すると、一〜二日して激しい腹痛やおう吐、下痢が起こります。つまり食中毒の症状が出ます。年末から年初にかけては、忘年会や新年会、同窓会などが行われることが多く、ノロウイルス中毒も多く発生します。ノロウイルスは二枚貝の内臓に蓄積されることが多く、カキ、シジミ、ホタテなどからノロウイルスが検出されています。最も多い中毒としては「生カキ」が挙げられます。カキは冬場がおいしいので食べる方も多いと思います。しかし生カキは避けた方が無難です。

もちろん煮て食べれば問題ありません。ただしカキフライにするときは十分加熱することが必要です。またカキを調理したまな板、包丁、ふきんなどにウイルスが付いていることがありますから、他の食材を調理をする前に熱湯で十

佐久総合病院名譽院長 松島 松翠

分消毒することが必要です。

ノロウイルスは食べ物からだけでなく、ウイルスで汚染された手などを通じて、人から人へと感染が広がります。従って予防の第一は外から帰ったとき、トイレの後、調理の前、食事の前には、せっけんと流水で手をよく洗うことです。下痢の症状があるときは他の人とタオルなどは共有しないことが大切です。

特に抵抗力の弱いお年寄りや乳幼児などがノロウイルスに感染しますと、重症化しやすいので十分に注意しましょう。



生産者直売所

そくさいかん **初売** 新春イベント

今年もよろしく
お願い致します

1月6日(日)

大好評 産直会員による AM11:00より
つきはじめます

ふるまいもちつき

生産者直売所「そくさいかん」
の生産者が「今年もよろしくお願
い致します」の気持ちを込めて、つき
たてのお餅をふるまいます。

つくも良い、
食べるも良い **無料です**

ワイワイ楽しみましょう!!

なくなり次第終了します

そくさいかん女性部による
AM10:30頃

メッタ汁 1杯 100円

**惣菜
販売**

なくなり次第
終了します

■年末年始営業時間のご案内

年/月	日	曜日	本店・支店	給油所			自動車センター	農機センター 配送センター LPガスセンター	JAグリーン かほく		
				宇ノ気SS	津幡セルフSS	倶利伽羅SS					
平成 30年 12月	22	土	休業	7:30～ 19:30	7:00～ 22:00	8:30～ 17:30	8:30～ 17:30	休業	9:00～ 19:00		
	23	日		8:00～ 18:00		休業	休業			休業	
	24	月		7:30～ 19:30		8:30～ 17:30	8:30～ 17:30			8:30～ 17:30	
	25	火	8:30～17:30	7:30～ 19:30		7:00～ 22:00	8:30～ 17:30	8:30～ 17:30		8:30～ 17:30	9:00～ 19:00
	26	水									
	27	木									
	28	金	休業	8:00～ 18:00		7:00～ 22:00	休業	休業		休業	9:00～ 19:00
	29	土									
	30	日									
31	月	7:30～ 18:00	休業	休業	休業	休業					
平成 31年 1月	1	火	休業	休業	8:00～ 19:00	休業	休業	休業	休業		
	2	水									
	3	木									
	4	金	8:30～17:30	7:30～ 19:30	7:00～ 22:00	8:30～ 17:30	8:30～ 17:30	8:30～ 17:30	9:00～ 19:00		
	5	土	休業	8:00～ 18:00		休業	休業	休業			
	6	日									
	7	月	8:30～17:30	7:30～ 19:30	7:00～ 22:00	8:30～ 17:30	8:30～ 17:30	8:30～ 17:30	9:00～ 19:00		
	8	火									

■年末年始ATM営業のご案内

年/月	日	曜日	津幡支店	宇ノ気支店	高松支店	Aコープつばた店	イオンかほく店	内灘町役場
平成 30年 12月	27	木	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	9:00～18:00
	28	金						
	29	土						
	30	日						
	31	月						
平成 31年 1月	1	火	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	9:00～18:00
	2	水	休業	休業	休業	休業	休業	休業
	3	木						
	4	金						
	5	土	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	9:00～18:00
	6	日	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00	8:00～21:00
7	月							

■その他サービス

JAネットバンク サービス	個人ネットバンク	平成31年1月1日、3日のパソコン、携帯電話、スマホ等を利用した全てのサービスはご利用できません。
	法人ネットバンク	平成31年1月1日～1月3日まで休止となります。
デビットカードサービス	デビットカード機能が付いたJAキャッシュカードによるJ-Debit加盟店での代金決済は、1月3日は休止となります。	

※1月3日は、システム停止日の為、全ATMおよびJAネットバンク・サービス、デビットカードサービスを休止させていただきます。